



OLD BLOOD NOISE ENDEAVORS BL-37 REVERB

一つの点。

一つの線。

一つの球体。

一つの記憶。

物理メディアに反響する

物理メディアを反響する

部屋を、頭を、心を満たす大胆不敵なサウンド。デジタルでありながら有形のような。壁が会話をするような。まるで現実の空間のようで、僕らが行った場所、やってきたこと、もしくはかつての僕たち自身を再現するために、しかもオールパスフィルターやモジュレーションディレイを連ならせるということではなく、みたいなね。あとはクロックをまるごと操作できて、全部をシンプルにストレッチできるようにしよう。まったく、最高なコンセプトだろ？

BL-37はリバーブペダルです。優艶ですが激しくもあり、簡単に引き延ばすことができます。モジュレーションは、わかりやすくピッチバンドするほどはっきりとかかることもあれば、やわらかくきらめく程度に浅くかかることもあります。

BL-37のコントロール類はシンプルです。中央のClockスライダーでペダル全体のタイミングを変更します。シグナルの解像度を左右するサンプルレートやリバーブのタイミング、リバーブにかかるモジュレーションの速さ、それらすべてがスライダーを動かすことで変化します。

FeedbackやMix, Volumeを使えば、演奏中のこの空間の音を、更に作りこむことができます。

CONTROLS:



MIX

全体のウェット/ドライ比率を設定します。フルドライからフルウェットまで、好きなようにエフェクト量を設定できます。

VOLUME

全体の音量を設定します。Clockを下げた際に音量が下がったように聞こえる場合は、このノブで調整してください。

CLOCK

クロックスピードを設定します。右に動かしきると、はじけるような短いリバーブ。左に動かし切ると、解像度の低い、長いリバーブになります。左に動かしていくとクロック周波数が可聴域に入り、ノイズやエイリアシングが足されていきます。

FEEDBACK

リバーブの出力から入力へのフィードバック量を設定します。Clockの設定によらず、Feedbackを上げるとリバーブの減衰がゆっくりになり、モジュレーションが強調されます。

BL-37は110mA 9VDCセンターマイナスの電源入力で動作します。

BL-37 ARTWORK : BRANDY M. PATTERSON
bmpatterson.com